

# ふれあいの橋の会

REPORT さかい



訪問日 2025年11月20日(木) 10:00～11:40  
訪問先 デイハウスせいどう、生活支援ハウス 境港市高松町 892-3  
出席者 【委員】 川口 昭一、植田 建造、遠藤 博江、遠藤 恵子  
【さかいエリア】 濱田 壮 (さかいエリア総合施設長)  
倉光 桂吾 (デイハウスせいどう管理者・係長)  
杉山千樹 (介護老人福祉施設新さかい幸朋苑 主任相談員)  
【法人本部】 荒井 祐二 (監事)

SAKAI



## ■施設の現況・課題

**荒井監事**：本日の「ふれあいの橋の会」は、「デイハウスせいどう」と「生活支援ハウス」を見学していただきます。はじめに、さかいエリアの現況を濱田総合施設長から報告ください。委員の皆さんには、配布しています評価表に基づき、施設内外を点検し、具体的な提言をお願いします。

**濱田総合**：昨日、境港市介護保険運営協議会に出席しましたが、資料によりますと、男性は閉じこもり傾向があるようです。男性は介護認定も介護サービスも利用する人数が少ない実態がみられます。デイケアや老健など、機能回復訓練のある事業所には関心を持ち、利用者も多い傾向があります。従って、男性の利用を増やすには、そうした実態を理解し運営する必要があると思っています。旧誠道小学校跡施設については、ガイナレ鳥取のアカデミー組織(高校・中学年代チーム)の活動拠点として「ガイナレ誠道アカデミー」が始動しています。校舎内をアカデミー生の寄宿舎や市内の高校に地域外から通学する生徒の宿舎に利用されています。11月12日には、ガイナレの選手2名が、さかい幸朋苑のデイケアを訪問し、交流を深めました。「応援しているので頑張ってください」と声援を送るご利用者もありました。職員の中にもファンが多いので交流機会を増やしたいと

考えています。さかい幸朋苑と旧誠道小学校の間には「ふれあいの橋」が設けてありますが、改修整備を予定しています。10月18日には、ナマステホールを会場に、さかい幸朋苑の「秋祭り」を開催しました。こうほうえん職員による境港大漁太鼓演奏やボランティア表彰などを実施しましたが、ご利用者をはじめ多くの人が集まり、賑やかに開催できました。

**倉光管理者**：小規模多機能型居宅介護事業所の「**デイハウスせいどう**」は、「通い」「訪問」「泊まり」の3つサービスを同一事業所で受けられます。例えば、ご利用者がインフルエンザに罹患した場合、その日の朝に「泊まり」を希望しても利用できます。臨機応変に対応していますのでメリットが多いと思います。登録定員は29名で、男性10名、女性19名が利用者されています。

「**生活支援ハウス**」は、市で判定された人が入居できます。定員20名で自立生活が可能なが対象です。現在17名が入居され、男性7名、女性10名が生活をされています。デイサービスやホームヘルプなどの介護保険サービスを受ける人もあります。

10月5日には「秋祭り」を開催しました。コロナ禍で地域との繋がりが薄くなっていましたので、交流を深めるとともに、デイハウスせいどうを知っていただくことを目的としました。

バンド演奏や大漁太鼓、フラダンスなどのボランティアグループの協力で、子どもからお年寄りまで100人以上の参加がありました。また、ご利用者の希望を叶える取り組みを進めています。

うな重を一度も食べたことがない人を食事処にお連れしたり、みんなでカレーを作ったり、施設内で野菜を栽培するなど、さまざまな取り組みをしています。生活支援ハウスの入居者は自炊される人がいますので、近くの商店の協力で、希望の食材等を届けていただいています。

地域の皆さんとの交流が広がってきましたので、さらに工夫し充実させたいと考えています。



**遠藤博江委員**：デイハウスせいどうでは、「泊まり」は何人まで利用できますか。利用者の年齢は、どうですか。

**倉光管理者**：居室が7部屋ありますので、7人まで可能です。デイハウスは、70～96歳。生活支援ハウスは、70～98歳が利用されています。

**植田委員**：近くの商店の協力があり、自炊される人も助かりますね。境港市内には、郊外に多数の大型スーパーマーケットがありますが、昔ながらの商店は消滅しましたので、**買い物難民が増えて**います。例えば、水木ロードなどの商店街は、土産物を販売する店舗になっていますので、食料品や日用品を買い求めることができなくなっています。自動車を持たない高齢者にとっては、住みにくい時代になっています。

**遠藤博江委員**：私が住む上道地区では、魚や野菜などを積み込んだ移動販売車が定期的にやってくるので、利用される人が多いです。

**川口委員**：買い物難民の課題は、以前からあります。時代は常に変化しており、それぞれの地域で対策を検討し、対応すべきだと思っています。困ったら地域で話し合いを進めるべきです。

**遠藤恵子委員**：昔ながらの商店はなくなりましたが、コンビニがあるので、なんとかしのげるようです。



### ■施設内外の点検・提言

**荒井監事**：居室やリビング、庭の植栽状況などを見ていただきました。配布しました評価表（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④その他）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。 ③

**植田委員**：デイハウスせいどうでは、餃子を焼く臭いがリビングに漂い、皆さんが今か今と待つ雰囲気でした。ご利用者の皆さんで餃子を包まれたのでしょうか。

**倉光管理者**：ご利用者の希望を叶える取り組みの一環です。先ほどまで、全員で餃子包みの作業をされ、焼けるのを待っている状態でした。みんなで一緒に取り組むと、喜びもひとしおだと思います。

**遠藤博江委員**：デイハウスせいどうは、利用者も多く、表情を見ても楽しそうでした。生活支援ハウスは、部屋の中におられるのか、外出されているのか、ご利用者と出会うこともなく、評価ができません。ご利用者同士が交流できる工夫が必要だと感じました。掲示物の文字が小さいのが気になりました。読みやすい方法を検討してください。

**遠藤恵子委員**：両施設のリビングや居室、トイレなどを点検しましたが、どこもきれいに掃除がなされていました。デイハウスでは、餃子を焼かれていましたが、こうした取り組みで交流も深まるし、食事も美味しいでしょうね。私の知人に、要介護認定を受けているが、介護サービスを利用していない人がいます。小規模多機能施設の利用内容を伝えたいと思います。

**川口委員**：リビングの壁に「2025年度の目標」が掲げられていました。職員の意欲を感じるし、ご利用者にも伝わっていると思います。目標を実現していくには、日々意識する事が大事です。職員の対応については、ご利用者にも私たちにも明るく接していたので問題ないと思います。

**植田委員**：私は、新さかいエリアの事業所で、習字教室のボランティアをしています。活動範囲を広げようと思っています。いつでも声掛けしてください。

**杉山相談員**：私は、新さかしのショートステイとみなと特養の相談員を担当していますが、3つのサービスを同一事業所で受けることができる小規模多機能の特性を再認識しました。とても良いサービスだと思います。

**遠藤恵子委員**：柔軟に対応され、気軽に相談できるというのは、利用する側としては最高です。

**濱田総合施設長**：本日も多くのご提言をいただきました。今後の運営に反映していきます。

**杉山主任相談員**：次回は、12月18日（木）10：00～

デイサービスセンターさかい幸朋苑（一般、認知症対応型）です。

④

